

# みんなの図書館

発行日 令和8年1月15日(木) (年4回発行)

第79号



発行者 木更津市立図書館

木更津市文京2-6-51

TEL 0438-22-3190

FAX 0438-22-7509

図書館を使いこなそう

NO.42

## 多言語図書コーナー

今年度、一般図書のコーナーとして新たに、「外国語で書かれた本」のコーナーを設置しました。そこで今回は、日本語以外の言語で書かれた図書のコーナーをご紹介します。

### ① 子ども向け絵本 (Foreign Language Children's books)

児童室には、英語や、その他さまざまな言語で書かれた絵本があります。

背表紙の金色の○シールが目印で、日本語のタイトルも書かれています。

児童室を入ってまっすぐ進んだ、窓際の棚に置いています。



### ② 一般書 (Foreign Language books)

対象の図書は、むらさき色の背表紙ラベルの上段に、「ML」と書かれています。

図書館に入って左手奥に進んだ、雑誌コーナー・閲覧スペースの手前の棚にあります。



その他、辞書や英字新聞は2階の参考調査室にあります。

場所がご不明な場合は、職員がご案内しますので、お声がけください。

Multilingual

## 第4回 大人のための絵本セラピー

10月18日（土）に、4回目となる「大人のための絵本セラピー」を開催しました。

絵本セラピーとは、絵本の読み聞かせを通して、その人の力を自然に引き出す「人と人のふれあいと気づきのワークショップ」です。絵本セラピストによる絵本の読み聞かせが行われた後、簡単な問い合わせに対して感じたことをグループで分かち合います。

絵本セラピストの中原まどかさんが5冊の絵本を読んでくださいり、絵本に関連したいろいろな問い合わせがありました。参加された皆さんには初対面でしたが、どのグループも話が弾み、終始和気あいあいとしていました。イベント終了後のアンケートにも「初めましての方々と仲良くなれて楽しかった」「ステキな癒しの時間だった」などの嬉しい声がありました。

来年度も秋ごろに第5回の開催を予定していますので、ぜひご参加ください。



第2期

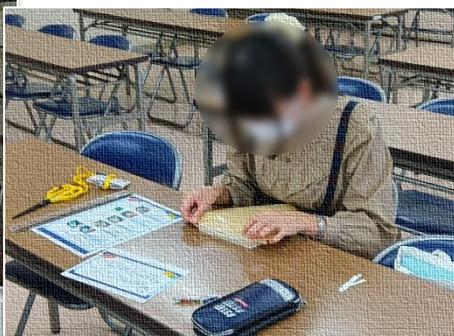
## 子ども司書養成講座 めざせ！Kisa Librarian！



開館95周年記念事業として昨年度行った子ども司書養成講座「めざせ！Kisa Librarian！」を今年度も開講しました。講座では、中学生～高校生を対象に、本の貸出・返却やレファレンス、本の修理に絵本の読み聞かせなど、様々な司書の仕事に挑戦してもらいました。今年度は9月～12月の隔週土曜日に全7回の講座を行い、中高生3名が子ども司書 Kisa Librarian として認定されました。



◀カウンターでの本の貸出  
▼本のブックカバーかけ＆修理



◀絵本の読み聞かせ

皆さんのが作ったPOPは  
図書館入り口に掲示しています♪



今年度は、前号でお伝えした「夏休みは図書館で過ごそう！」で Kisa Librarian の皆さんのが協力してくれました。次年度以降も引き続き講座の開催と、活動の場を広げられたらと考えております。皆さんの参加をお待ちしています！



## 雑誌と図書のリサイクルフェアを開催しました！



今年も「雑誌と図書のリサイクルフェア」では、図書館での保存年限が過ぎた雑誌や除籍した図書、また、フェア用にとお持ちいただいた図書の配布を行いました。今年の配布総数は、雑誌の付録も含め3, 560点と、多くの本をお手に取っていただきました。ぜひ、ご活用いただければ幸いです。

## 図書館企画展 木更津の小さな昭和コレクション

「昭和」という元号が使われ始めたのは、今から99年前の1926年12月25日です。それから「平成」となる1989年までの間、昭和の元号は64年まで続き、2025年は昭和の元号が続いているとすると昭和100年となる年です。図書館では、昭和を感じる・知ることができる展示ができるのかと考え、11月に「木更津の小さな昭和コレクション」を開催しました。

展示したのは、昭和52年～54年頃を中心に図書館職員が収集したり、市民の方からご寄贈いただいたりした資料と、関連する図書です。当時飲食店が配布していたマッチ箱や箸袋、メニュー表や、当時の切符など、小さな資料をぎゅっと集めたことから“小さな”昭和という展示名にしました。



今回、会場として使用したのは「恵春庵（けいしゅんあん）」という旧民家で、昔に寄贈を受け、現在は図書館が管理しています。図書館と隣の文京公民館の間を奥に進んだ先にあり、普段はサークル活動で利用されるほか、今年の夏には小・中学生向けのイベント「夏休みは図書館で過ごそう！」で使用するなど様々なことに利用されています。昭和49年に建てられたということで、まさに昭和を感じる空間だったのではないでしょうか。

アンケートや直接お話しした中で、「展示を見たことで様々なことを思い出した」「貴重な資料が状態良く保管されていてよかったです」などの声をいただきました。木更津の昔を知る、思い起こすきっかけとなる場を作れていましたら幸いです。また、展示をきっかけとして資料をご寄贈くださった方々、誠にありがとうございます。身近な小さなモノが、今回のように後世で誰かの心を動かすかもしれません。地域の資料として、今までの資料とともに大切に所蔵していきたいと思います。



# ご寄附・ご寄贈への感謝をこめて……

日頃より温かいご支援をくださる皆さま、誠にありがとうございます。

この度、12月に表彰式・寄贈式を行いましたので、ご紹介いたします。

## トヨーカネツ株式会社 様

トヨーカネツ株式会社は、令和3年に創立80周年、また拠点所在市区として木更津市に事業所を設立してから50周年を迎えられました。その記念事業のひとつとして木更津市への児童向け図書購入のためのご寄附を始められ、令和3年度以降、毎年継続してご支援くださっています。この度木更津市ではそのご功労に感謝し、表彰式を執り行いました。

ご寄附で購入した図書は、児童室に「トヨーカネツ子ども文庫」として設置し、児童から大人まで幅広く利用されています。



表彰式後、大和田代表取締役社長は田村所長、三浦部長と図書館内を見学され、2階の郷土資料室ではトヨーカネツ株式会社の社史（30年、50年、75年史）をご覧になりました。

## 坂井 昭 様

君津市在住の郷土史家である坂井昭さんより、図書館での文化振興に役立てて欲しいとの思いから、故中尾彬氏の水彩画や三代目歌川豊国の浮世絵などの木更津に関する美術品7点をご寄贈いただきました。坂井さんは、令和5年度のたくさんの風景絵葉書のご寄贈のほか、日頃より木更津に関する貴重な資料をご寄贈くださるなど、温かく図書館を支えてくださっています。



坂井さん（写真右）から廣部教育長（写真左）に美術品と目録が手渡されました。坂井さんは普段からよく図書館を利用され、県内の歴史の調査、新井白石の研究など、精力的に活動されています。

「しがねえ恋の情が仇、命の綱の切れたのを、どう取りとめてか木更津から……」という名台詞でおなじみの歌舞伎『与話情浮名横櫛』の役者絵を複数ご寄贈いただきました。





## 冬の図書館行事予定

それぞれ詳しくは、今後図書館ホームページや、館内チラシなどでお知らせしますので、そちらをご確認ください。

### ○第27回れきおんミニコンサート（申込不要）

国立国会図書館の歴史的音源から落語をお届け。新年も図書館で笑いのひとときを！

1/31(土) 午後2時30分～午後3時30分 テーマ「れきおん新春落語会」

### ○第24回大人のためのおはなし会（要申込・先着）

素話で楽しむおはなしの世界。さまざまな国のおはなしを満喫しましょう。

2/7(土) 午後2時30分～午後4時（大人対象）

### ○蔵書点検 所蔵する本の調査・点検を行います。

2/16(月)～25日(水) ※期間中、図書館は休館となります

### ○児童文学講座「物語を描くということ」 講師 いとうみくさん（要申込・先着）

作家活動のことや、物語がどのように生まれるのかなどをお話しいただきます。

3/14(土) 午後2時～午後4時（中学生以上対象）

## 《レファレンス・トリビア》

★「レファレンス」とは情報を求めている利用者に対し、図書館員が提供する個人的援助を言い、貸出と並んで図書館サービスの中心となる業務です。  
RO10/ト 『図書館用語集 3訂版』 日本図書館協会用語委員会//編

Q 『木更津地名散歩』37番の記事に、「木更津海岸描画」が船橋の図書館に所蔵されているとの記載がある。これは、船橋市のどこの図書館に所蔵されているのか。

A 皆さんは、当館所蔵の『木更津地名散歩』をお読みになったことがあるでしょうか。これは、新千葉新聞で連載していた郷土史家の故高崎繁雄氏による記事で、図書館ではスクラップして保存しています。昭和51年から54年までの記事で、実にその数は150もあります。木更津の地名の由来や、それにまつわるあれこれがエッセイふうにまとめられていて、知られざる木更津の歴史に自然と親しむことのできる貴重な資料です。

さて、この『木更津地名散歩』で触れられている「木更津海岸描画」とは、どのようなものなのでしょうか。記事中では、「画面右に常夜燈、正面に築港以前の波よけがかかれ、上空に複葉機が飛んでいる」と描写されています。むむ、常夜燈に、波よけに、複葉機（主翼を上下二組持つ飛行機）……まるで謎解きのようです。これだけでは分からないので、氏の書かれた他の資料を調べます。すると、『袖ヶ浦市史研究 第9号』35ページに「写真14 築港以前の蒸気がし」として、それらしき浮世絵の写真が載っているではありませんか。「木更津海岸描画」と書かれてこそいませんが、きっとこの写真のものに間違いありません。これを手掛かりに、今度は、その所蔵館である船橋市立図書館のデジタルミュージアムを検索します。「木更津」で検索すると、ヒットしたのは14件ほど。その中から、ついに見つけました。船橋市西図書館所蔵の「上総木更津之図」。皆さんも是非見てみてください。常夜燈、波よけ、複葉機のみならず、帆船と、遠くに見える富士山も描かれた、とても素敵な作品です。

実はこの度、坂井昭さんのご寄贈により、木更津市立図書館にも同じ図の版画が所蔵されることとなりました！実物の、なんと色彩鮮やかなことでしょう。近々、皆さんにもお披露目したいと思いますので、どうぞお楽しみに。

# わたしの思い出の1冊～記憶の中に深く刻まれている1冊をご紹介します～

『遠い山なみの光』カズオ・イシグロ著 小野寺健訳 フル933/イシ

図書館員 まめ

小説と映画の関係は面白い。小説が原作となった映画はあまたあるが、原作を読んでからその映画を見てみると、はたして大いに満足するものもあれば、反対に肩透かしを食らったような気になるものもある。もちろん、感じ方は人それぞれであろうが、例え私は、韓国映画「82年生まれ、キム・ジョン」（原作：チョ・ナムジュ）を観た時には、小説よりもむしろ映画の方が良いとさえ思った。また、濱口竜介監督の「ドライブ・マイ・カー」（原作：村上春樹）に至っては、監督の圧倒的な想像力と創造力のお陰で、原作が思い出せないという当惑を覚えた。一方でその逆もあり、自分の大好きな原作の場面が映画ではカットされていたり、起用されていた俳優のイメージが、自分のそれとは相いれなかったりして、がっかりすることもある。それでも、映画という媒体を通して小説をもう一度楽しむというこの時間が、たまらなく好きである。だから、私は必ず、原作を読んでから映画を観るようにしている。

さて、本書『遠い山なみの光』は、ノーベル文学賞受賞作家であるカズオ・イシグロの初期の作品である。この作品は王立文学協会賞を受賞し、日本では1984年に、『女たちの遠い夏』（のちに『遠い山なみの光』と改題）として出版された。イギリスで暮らす年老いた主人公の悦子が、あることをきっかけに、若かりし日のことを回想していく。それは、戦争終結後の長崎にあって、希望をもって生きようとする若き日の悦子と友人の佐知子、そして、佐知子の娘である万里子のひと夏の物語である。

この作品が石川慶監督によって映画化され、令和7年9月から全国で順次公開された。第78回カンヌ映画祭「ある視点」部門に選出されたこともあり、少なからず話題にもなった。主演は広瀬すずであるし、その他キャストも豪華な顔ぶれである。折しも、戦後80年という節目の年。これは観たい！

映画公開前には、当館の蔵書にもぞくぞくと予約が入り、かくいう私も大あわてで予約を入れ、後予約を気にしながら猛烈な勢いで再読。2日程で返却し、これで準備万端とホッとした。さて、カレンダーを見ながら、いつ映画を観に行こうかと考える。木更津ではいつから公開されるのかしらん……

ところが、木更津のUSシネマを検索してみるものの、どうやら上映されていないらしい。検索を進めるうちに、9月の時点では千葉県内上映予定館なし（！）という衝撃の事実が判明。ショックに打ちひしがれている間に月日が経ち、気付けばすでに年末。ああ…されば東京へ赴くか…でも、遠いなあ……

そんなこんなで、すでに新しい年になってしまった。こうなったら、馬のように首を長くして、DVDが出るのを待つ方が賢明でしょうか？

## 図書館所蔵資料巡回ミニ展示 「絵葉書でみる昔の木更津」開催中！

令和5年に明治～昭和にかけての風景絵葉書を多数ご寄贈いただいたことをきっかけに、図書館では令和5・6年度と「絵葉書でみる昔の木更津」「絵葉書でみる昔の房総」として、ご寄贈いただいた風景絵葉書を中心とした展示を行い、たくさんの方にご来館いただきました。

今回はより多くの方にご覧いただきたいとの思いから、以前展示した資料の中から木更津地域の絵葉書を中心に、公民館等市内5施設を巡回し拡大写真によるミニ展示を行っておりますので、お立ち寄りの際はぜひご覧ください。

各施設の日程・開館時間などは▶  
WEBページをご覧ください



## 編集後記

日々の過ぎるのがはやいこと……。すぐに年度末になってしまいますね。進めなければいけないことだらけです。(N)庭先の水仙が咲き始めました。花の香りに包まれ、心癒される毎日です。今年も、幸香る一年となりますように。(まめ)